



2021年12月28日

各位

会社名 M I C S 化学株式会社
代表者名 代表取締役社長 大塚茂樹
(コード番号 7899)
問合せ先責任者 取締役管理部長 原川剛一郎
(TEL 0561-39-1211)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、2021年12月14日にスタンダード市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点(2021年6月30日)において、当該市場の上場維持基準を満たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

・当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準の適合状況は、以下のとおりとなっており、流通株式時価総額については基準を充たしておりません。当社は2024年12月までに上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

	株主数	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)
当社の状況 (移行基準日時点)	1,947人	22,236単位	8.1億円	38.0%
上場維持基準	400人	2,000単位	10億円	25%
計画書に記載の項目	—	—	○	—

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出をおこなったものです。

・上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

(1) 基本方針

当社は、50年の歴史の中で培ってきた高機能チューブフィルムの技術を活かし、商品技術(商品化アイデア)を更に強化、新領域へ拡大展開することで、中長期的な成長と企業価値の向上を図ってまいります。

(2) 課題

当社は「株主数」や「流通株式数」においては上場基準を充足しておりますが、「流通株式時価総額」が基準に達しておらず、「株価」の不足が主たる要因であると捉えております。従いまして、企業価値の向上により株価の向上と安定を図っていくことが最重要の課題であると認識しております。

(3) 取組内容

当社は持続的な成長を可能にしていくための指針として、本年6月に中期経営3ヶ年計画を策定しております。流通株式時価総額の上場維持基準の適合に向けて、本計画をベースに以下のとおり計画の軸となる重点施策を確実に推進し、成長性及び収益性の高い経営体質へ転換を図るとともに、環境負荷に配慮した新たな製品の開発やコーポレートガバナンスの強化を推し進め、すべてのステークホルダーに対して魅力ある企業を目指してまいります。

①新規事業（製品）の創出

- ・特許出願中の新製品「Filmics Shu-Lock」を、企業価値向上のための取り組みのひとつとして位置付け、育児や介護、スポーツや防災、ペット市場など、人々の日常生活における「快適」をサポートするライフケア製品として、当社のユニークな商品力で幅広くニーズを開拓し、新たな収益の柱として確立する。

②抜本的な事業構造改革の推進

- ・既存製品の改良、改善による高機能化により販売競争力を強化する。
少子高齢化に伴う人手不足への対応で、成長著しい自動化や合理化が加速している食品および工業・機械分野に向けた製品の生産強化と販促活動を推進する。
- ・新たに構築する新・生産管理システムの効率的な運用による、ムダのない高効率で円滑な生産活動を推進する。
- ・新素材の採用や製法の改良により付加価値を高め、顧客の求める新たな包装資材製品を拡充、産業用途に注力した販促活動を推進する。

③環境に配慮した取り組み

- ・製造品質改善活動による廃棄プラスチックの削減。
- ・生産過程で発生する端材のリサイクル利用拡大。

④働く環境の改善

- ・ワークフローシステム導入によって既存業務を合理化・効率化し、社内の業務コスト圧縮に継続的に取り組んでいく。
- ・パンデミックや自然災害など、今後も想定される様々なリスクに対し、クラウドシステムの活用やテレワークに代表されるコミュニケーションツールの整備を推し進め、事業リスク低減に取り組んでいく。

上記の中期経営計画の取り組みに同期する取り組みとして、コーポレートガバナンスの充実、積極的なIRの発信に取り組んでまいります。

1. コーポレートガバナンスの強化

当社は監査等委員会の委員の過半数を社外取締役で構成しております。監査等委員会を通じて、業務執行の適法性、妥当性の監査・監督機能を強化するとともに、迅速かつ適切な経営の判断により、継続して企業統治の強化に努めてまいります。

2. IRの強化

当社WEBサイトは、株主・投資家にとって情報収集の重要な役割を担っていると認識しており、昨今自社HPをリニューアルいたしました。事業活動の最新情報や決算概要等につきまして、継続的に更新・拡充等に努め、積極的にIRの強化に取り組んでまいります。また、当社製品はこれまでBtoBビジネスが主流でしたが、新製品「Filmics Shu-Lock」によりBtoCビジネスを拡大し、当社の知名度向上に努めてまいります。

これらの施策の実施により、2024年4月期連結売上高26億33百万円、連結営業利益1億5百万円、売上高営業利益率4.0%を達成し、流通株式時価総額基準への適合を図ってまいります。

(連結業績計画)

(単位：百万円)

	2021年4月期 実績	2024年4月期 目標
売上高	2,377	2,633
営業利益	53	105
営業利益率	2.3%	4.0%
1株あたり営業利益 (2021年10月31日時点 基準株式数5,254,136株)	10円89銭	19円98銭

以上